

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療情報システム普及啓発等経費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：渡辺顕一郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年発達著しい情報処理技術や通信技術を活用した医療情報システムの標準化等の普及啓発を行い、内閣官房を中心とした政府及び各重要インフラ分野において官民の緊密な連携体制を構築する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療情報システムの標準化等の普及啓発及び、各重要インフラ分野との連携体制の構築。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	10	9	1	1	1	
	執行額	1	1.0	0.2				
	執行率(%)		10.0%	11.1%	20.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	医療情報システムの標準化等の普及啓発や、内閣官房を中心とした政府及び各重要インフラ分野において官民の緊密な連携体制の構築を図る		成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	医療情報システムの標準化等の普及啓発を行う		活動実績 (当初見込み)	-	-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠	標準化普及啓発については定量的表示が困難であることから、単位当たりのコストは算出不能。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医療システム普及開発等経費	1	1	-				
	計	1	1					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療情報システムの普及に向け関係機関等との連携を行う必要がある、国費の投入は必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	全国的な普及を図る上でも、自治体等ではなく国が行うべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		△	定量的な目標設定は困難。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、その上で、必要があれば可能な限りの節減を実施。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要最低限の経費のみを予算計上している。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	予算の削減を図るなど不要率解消に努めている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	必要最低限の経費のみを予算計上している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
-	-	-				
点検結果	-		-	事業の見直しを行い予算の縮減を図りつつも、医療情報システムの標準化等の普及啓発のために現地調査を行っていく必要があることから、今後も継続して取り組むこととしている。		
	-		-			
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	医療情報システム普及啓発等経費については、近年発達の著しい情報処理技術や通信技術を活用した医療情報システムの標準化等の普及啓発を行うことを目的としており、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	107	平成23年	0088	平成24年	067

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
0.2百万円

[医療情報システムの標準化等の普及啓発及び、各重要インフラ分野との連携体制の構築のために必要な経費]



A. 事務費
0.2百万円

【職員旅費】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A.個人(複数)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	医療情報化の体制整備の普及推進に係る旅費	0.2			
計		0.2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(複数)	医療情報化の体制整備の普及推進に係る旅費	0.2		